



最上エコボリスの実現
= 豊かな自然 輝くもがみ =

小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第10号

平成21年4月22日発行

山形県 最上総合支庁
建設部 河川砂防課

第2回 最上小国川流域 環境保全協議会 開催 小国川の環境を守るためのご意見をいただきました



3月24日(火)午後1時半から、最上総合支庁5階講堂で、第2回最上小国川流域環境保全協議会を開催しました。

今回は、10名の委員にご出席いただき、委員の皆様から、さまざまな、貴重なご意見をいただきました。

今後、環境を保全するための対策に反映させていくよう検討してまいります。

第10号では、その状況等についてご紹介いたします。

【協議内容】

1) 第1回環境協議会の指摘事項とその対応について
小国川だより第8号でご紹介しましたが、第1回の協議会で、いただいたご意見ご質問とその対応について説明しました。

2) 環境の調査結果について
大気環境
(大気質・騒音・振動)
水環境(水質)
動物・植物・生態系
景観・人と自然との触れ合い活動の場

以上の4項目について、これまで10年に渡って調査してきた内容をご説明しました。

次のようなご意見ご質問がありました。
赤倉町内で「工事中に車が通ったときの振動が心配だ」との意見がある。調査をしっかりと、対策等も取ってもらいたい。

ワタナベカレハ(蛾)は情報不足の種であり、希少種として扱うか、議論がある。

ゲンジボタルは、減少傾向が確認されているが、珍しい種ではない。

11種類の猛禽類のうちダム事業による環境影響対象として注目するのは、クマタカ・オオタカ・ハイタカ・ハチクマ・サシバの5種類でよい。他の種は、渡りまたは一時的な生息の確認と考えられる。

オオタカは生息地が確認されているが、ダム事業実施区域から離れているため、影響は小さいと思われる。



ワタナベカレハ



ハチクマ

【「環境調査結果へのご意見ご質問」の続き】

ハイタカ・ハチクマ・サシバは営巣実績があるが、近年確認されていないこと、ダム事業実施区域から営巣場所が遠いこと等から、影響は小さいと考えられる。

クマタカについては、今後、ダム事業による影響を検討する上での情報として、調査を行う必要がある。シダ植物で、北限が鳥海山系となる種があるが、この種に配慮した調査結果の整理が必要と思われる。シダ植物について、専門家にリストの確認を願ってはどうか。

洪水後期に生じる土砂流下による付着藻類への影響を把握するため、濁水中の有機物量・無機物量やその状態を把握することが重要である。



クマタカ



オオニガナ

3) 今後の環境調査計画について

平成21年度の環境調査は、大気環境、水環境、動物植物環境、などの調査を行う予定です。

次のようなご意見をいただきました。食草であるウスバサイシンが確認されているため、ヒメギフチョウの調査を行う必要がある。

同一区域に複数種の猛禽類の巣があるが、一般にはこれらが共存することはありえないので、現在ある巣が実際に使用しているものか、過去のものか整理すべきである。付着藻類は、上位5種の優占種を目標として整理するとよい。調査結果から、どのような予測を行うのか、シナリオが必要である。この委員会・調査の工程表を提示してほしい。



委員の方々から、多くの貴重なご意見ご提案をいただきました。今後、さらに調査・検討を重ね、最上小国川流域の環境を守るための方策を実施していきます。

平成21年度の事業内容について

平成21年度の設計・調査は、次の内容を予定しています。

- 設計・検討
- 本体実施設計（施設設計；詳細数量計算）
- 施工計画・施工設備設計
- 水理模型実験
- 環境調査
- モニタリング調査
- 水質シミュレーション計画
- 重要種保全策検討業務
- 補償調査
- 水文調査
- 流量観測・水質観測・雨量観測

ダムの実施設計には、安定解析を行い、ダムの構造寸法などを決める「配置設計」と工事発注に必要な細部の設計と詳細な数量などを計算する「施設設計」があります。平成20年度には「配置設計」を行いました。平成21年度は「施設設計」を行います。また、どのような方法で施工するかを計画し、それに必要な様々な設備等を設計する「施工計画・施工設備設計」も行います。ダムの洪水吐（ダムから水が流れ出るところ）の構造を決める上では、水理模型実験を行って、適切な構造を決めますが、今年度はこの実験も行います。環境保全のための様々な調査を実施します。用地を買収するための測量・調査を実施します。最上小国川の基礎データとなる水質や流量を観測します。

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課
 最上小国川ダム建設室 佐藤・高橋
 〒996-0002
 山形県 新庄市 金沢 大道上 2034
 お問合せ先 電話 0233-29-1407
 Email - 【前画面を参考にして下さい。】

【バックナンバー】
 創刊号・・・報告会のお知らせ 第6号・・・温泉影響調査報告会
 第2号・・・H19・H20調査内容 第7号・・・ダム計画
 第3号・・・治水対策の手法 第8号・・・環境保全協議会
 第4号・・・河川改修案 第9号・・・治水計画のまとめ
 第5号・・・温泉への影響